

営業利益率が 22.7%に上昇し、前年比 1.5% (実質ベース) の質の高い成長

バンガロール(インド) – 2020年7月15日

「第1四半期の業績、特に成長は、当社がこのような時期に共感を呼ぶ適切なサービス提供し、顧客の業務優先度を十分に理解していることの明白な証です。また、当期中、当社の従業員とリーダーが際立って献身的に従事してきたことを証明しています。本年度の残る期間についての信頼性と見通しは、第1四半期の業績と大規模取引の獲得により、好転しています」とCEO兼MDのSalil Parekhは述べています。

前年比 25.5%

デジタル実績ベースの成長率

前年比 1.5%

実績ベースの成長率

22.7%

営業利益率

17億4000
万ドル

大規模取引締結

- 前年比売上高は米ドル・ベースで 0.3%減、実質ベースで 1.5%成長
- デジタル売上高は 13 億 8900 万ドル (総売上高の 44.5%)、実質ベースで前年比 25.5%の成長
- 営業利益率は 22.7%で、前年比 2.2%増
- フリー・キャッシュ・フローは 7 億 2800 万ドル、前年比 50.1%増
- 2020 年 Q1 の IT サービスの自主退職は 20.2%から 11.7%に減少
- 実質ベースの 2020 年度収益予想は 0%~2%
- 2020 年度の営業利益率予想は 21%~23%

1. 財務ハイライト – 国際財務報告基準 (IFRS) に基づく連結決算

2020 年度第 1 四半期

売上高は 31 億 2100 万ドル、前年比 0.3%減、前期比 2.4%減

営業利益は 7 億 800 万ドル、前年比 10.1%増、前期比 4.9%増。営業利益率は 22.7%

基本 EPS は 0.13 ドル、前年比 3.8%増、前期比 5.4%減

COOのPravin Raoは、「この数か月間、顧客にシームレスなサービスを提供する一方で、従業員の安全と健康のためにいくつかの対策を実施しました。当社がリモートで提供するサービスの迅速さ、安全性および有効性について、顧客が

ら高い評価をいただきました。ポートフォリオの強みと多様性は、優れた売上高の業績、大規模取引の獲得、運用メトリクスの重視、および、退職の大幅な減少から明白です」と述べています。

CFOのNilanjan Royは「COVIDの状況に起因する戦術的な案件と並んで、戦略的コスト手段の早期導入によって営業利益率は22.7%に伸びました。回収は堅調で、資本支出を重視した結果、フリー・キャッシュ・フローが前年比で50%増加しました。当社の短期資産および負債のないバランス・シートは、このような時期に大きな力の源となります」と述べています。

2. 取締役変更

指名報酬委員会の推薦に基づき、取締役会は当社の追加の独立取締役として 2020 年 7 月 15 日より 3 年の任期で Bobby Parikh を株主の承認を得ることを条件に任命しました。

3. 顧客の獲得と証言

- インフォシスは**ロードアイランド州**と提携し、州内の新型コロナウイルス拡散を緩和できるように同州の住民と職員を支援するプライバシー第一の接触追跡ソリューションを導入します。「CRUSH COVID RI」と命名されたアプリは、当社の位置ベースのサービス・プラットフォームを活用して、ユーザーのプライバシーを保護しながら、個人の位置情報を記録します。
- インフォシスは、世界有数の専門ファウンドリー**GlobalFoundries (GF)** にデジタル・トランスフォーメーション・プログラムのパートナーとして選定されました。このパートナーシップを通じて、GF 社の製造および業務運用の全体的な効率とアジリティを最適化するために専門知識およびアナリティクス・ソリューションを提供します。
- VP Bank の子会社 **FE CREDIT** はベトナムの消費者金融の市場リーダーで、Finacle デジタル・バンキング・ソリューション・スイートを最新版にアップグレードし、それをオンプレミスから Software-as-a-Service (SaaS) モデルに移行しました。Finacle のクラウド・ネイティブな、マイクロサービス・ベースのデジタル・バンキング・ソリューション・スイートは AWS クラウドで稼働します。
- **CPG 大手企業**は、IT サービスの戦略的トランスフォーメーション・パートナーとしてインフォシスを選定しました。本プロジェクトにおいて、アプリケーション、インフラストラクチャおよびサイバー・セキュリティに関する統合的運用を実現するためにエンド・ツー・エンドのサポートを提供します。

4. 評価と表彰

- IDC MarketScape: EMEA Digital Transformation Service Providers for Oil and Gas Industry 2020 Vendor Assessment でリーダーとしての評価
- IDC MarketScape: Worldwide Blockchain Services 2020 Vendor Assessment でリーダーとしての評価
- IDC MarketScape: Worldwide Business Analytics Consulting and Systems Integration Services 2020 Vendor Assessment でリーダーとしての評価
- IDC MarketScape: Worldwide Cloud Business Analytics Services 2020 Vendor Assessment でリーダーとしての評価
- Everest Group 社の Open Banking IT Services PEAK Matrix Assessment 2020 でリーダーとしての評価
- Everest Group 社の Risk & Compliance PEAK Matrix Assessment 2020 でリーダーとしての評価
- HFS 社の Top 10: Agile Software Development 2020 で第 1 位
- HFS 社の Top 10: Enterprise Blockchain Services 2020 でリーダーとしての評価
- NelsonHall 社の Mortgage & Loan Services NEAT 2020 でリーダーとしての評価
- EdgeVerve Systems は、Process Discovery and Mining in NelsonHall NEAT 2020 でリーダーとしての評価
- 2020 Microsoft Datacenter Migration Partner of the Year 受賞
- 米国の Association for Talent Development (ATD) から「2020 BEST Awards」受賞
- Pega 社の Partner Award for Excellence in Growth and Delivery 受賞
- 当社の Cognitive Digital Commerce プラットフォームが 2020 IBM Beacon Award 受賞
- Celent 社は、Emirates NBD のミレニアム世代対象のデジタル限定銀行 Liv について、Finacle コア・バンキング・ソリューションを活用した魅力的なデジタル限定の提案として推進された「最高のデジタル・バンク」として評価
- インフォシスの投資家向け広報活動 (IR) は、FinanceAsia が実施した年次調査の結果、インド企業で最高の IR 機能として評価
- 社会的な大義に極めて熱心で、インドで環境スチュワードシップ上位 3 社に入ると FinanceAsia が評価

インフォシスについて

インフォシスは次世代デジタル・サービスとコンサルティングのグローバル・リーダーで、46 か国のお客様のデジタル変革を実現しています。ほぼ 40 年に渡り、グローバル企業のシステムと業務を管理してきた経験から、お客様のデジタル変革に専門的な支援を提供します。たとえば AI による変更実行の優先順位付けを利用して企業がデジタル化を実現できるようにします。また、前例のない業績レベルを提供し、お客様に喜んでいただけるように大規模なアジャイル・デジタルで業務を支援します。当社の絶えず学習するという方針に基づいて、革新エコシステムのデジタル技術、専門知識、アイデアを構築、伝達し、継続的な改善を推進しています。

リンク先 www.infosys.com では、企業が次のステージに進むために、インフォシス (NYSE: INFY) がどのように支援できるのかをご紹介します。

セーフハーバー条項

本リリースに掲載されている報告書の一部は、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項の適用を意図した当社の将来的な成長と今後の配当、財務的期待、当社の従業員、顧客およびステークホルダーへの COVID-19 の影響を管理するための計画を予測するものであり、そこには多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクおよび不確定要素としては、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素、その拡散を抑制するための政府およびその他の対策の効果、インド、米国、世界のその他の国々の景気低迷や不況に関連するリスク、政治、ビジネスおよび経済環境の変化、収益や外国為替相場の変動、当社の成長管理能力、費用効率に影響する可能性のある IT サービス分野における競争の激化、インドにおける人件費の高騰、高い技能をもつ専門的な人材を確保する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野であるテクノロジーの需要低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切り、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢などが考えられます。将来の営業業績に影響すると考えられるその他リスクについては、2019 年会計年度年次報告書 (Form 20-F) を含め、米国証券取引委員会へ提出された当社報告書に詳細に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。当社は、米国証券取引委員会および株主への報告書内の情報を含め、書面または口頭で将来の展望を随時発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

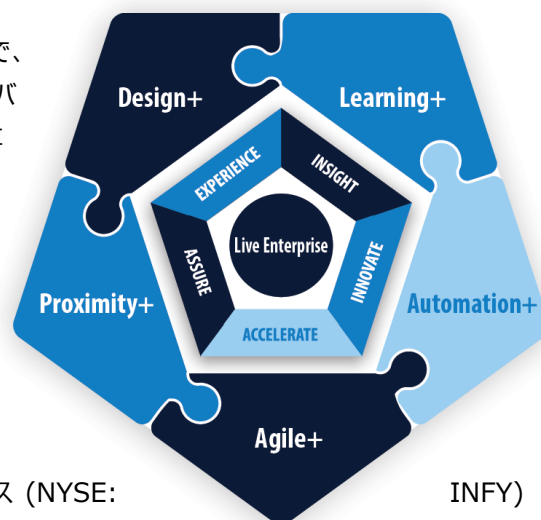
連絡先

投資関連

Sandeep Mahindroo

+91 80 3980 1018

Sandeep_Mahindroo@infosys.com



INFY)

メディア関連

Mehak Chawla

+91 80 4156 3998

Mehak.Chawla@infosys.com

Chiku Somaiya

+1 71367 06752

Chiku.Somaiya@infosys.com

(100 万ドル)

	2020 年 6 月 30 日	2020 年 3 月 31 日
資産		
流動資産		
現金および現金等価	2,515	2,465
Earmarked bank balance for dividend 配当目的の預金残高 ⁽³⁾	536	-
短期投資	371	615
売掛金	2,487	2,443
未請求収益	949	941
その他流動資産 ⁽⁴⁾	865	748
流動資産合計	7,723	7,212
非流動資産		
有形固定資産および Right-of-use assets 使用権資産	2,354	2,361
のれんその他の無形資産	956	950
非短期投資	853	547
その他非流動資産	1,151	1,190
非流動資産合計	5,314	5,048
資産合計	13,037	12,260
負債および資本		
流動負債		
買掛金	366	377
前受収益	410	395
従業員給付債務	253	242
その他流動負債および引当金	2,400	1,743
流動負債合計	3,429	2,757
非流動負債		
リース債務	512	530
その他非流動負債	288	272
流動負債合計	800	802
負債合計	4,229	3,559
親会社の所有者に帰属する持分合計	8,747	8,646
非支配持分	61	55
資本合計	8,808	8,701
負債および資本の合計	13,037	12,260

IFRS に基づく連結包括損益計算書(要約) から抜粋

(100 万ドル、株式データおよび 1 株当たり純資産データを除く)

	2020 年度第 1 四半期	2019 年度第 1 四半期
売上収益	3,121	3,131
売上原価	2,071	2,122
売上総利益	1,050	1,009
営業費用:		
販売費	151	169
管理費	191	198
営業費用合計	342	367
営業利益	708	642
営業外収益 ⁽⁵⁾	57	100
税引前利益	765	742
法人所得税費用	201	196
純利益 (少数株主損益調整前)	564	546
純利益 (少数株主損益調整後)	558	546

	2020 年度第 1 四半期	2019 年度第 1 四半期
基本的 EPS (ドル)	0.13	0.13
希薄化後 EPS (ドル)	0.13	0.13

注:

1. 上記の情報は、2020年度第1四半期の監査済みの要約版連結バランス・シートおよび包括損益計算書の抜粋で、2020年7月15日に開催された取締役会で記録されました。
2. 当社の業績に関する概況報告書は、www.infosys.comからダウンロードできます。
3. 最終配当のために準備された銀行残高を表します。配当支払日は2020年7月3日でした。
4. その他の債権には、投資信託の償還に対する8000万ドルを含みます。
5. 営業外収益には、財務コストを含みます。

お問合せ先

インフォスリミテッド 日本支店

マーケティング本部長 安藤 jo_ando@infosys.com